

会 議	平成 30 年度 第 2 回幸田町総合教育会議 会議録
日 時	平成 30 年 10 月 11 日 (木) 開会 午前 9 時 閉会 午前 10 時 40 分
場 所	幸田町役場 3 階 301 会議室
構 成 員	町 長 成瀬 敦 教育委員会 教育長 小野 伸之 教育委員会 委 員 高橋 文代 教育委員会 委 員 平松 敏明 教育委員会 委 員 山下 英雄 教育委員会 委 員 長谷 禎子
欠 席 構 成 員	なし
傍 聴 者	なし
構成員以外の出席者	副 町 長 大竹 広行 企 画 部 長 近藤 学 次長兼企画政策課長 牧野 宏幸 企画政策課長補佐 横田 隆之 住 民 こ ど も 部 長 都築 幹浩 こ ど も 課 長 菅沼 秀浩 教 育 部 長 志賀 光浩 学 校 教 育 課 長 内田 守 生 涯 学 習 課 長 長谷 優一郎 学校教育課教育指導監 藤井 敦 学 校 教 育 課 長 補 佐 小塚 弘樹
会議に付した案件	○意見交換 1 教育関係予算について 2 児童福祉関係予算について
決 定 事 項 及 び 主 な 意 見 等	○教育関係予算について ・ 2019 年中に、全小中学校の普通教室（172 室）にエアコンを整備する。 ・ 図書館では、「働く人たちの図書館づくり」をテーマに取り組んでいく。 ○児童福祉関係予算について ・ 病後児保育を 2019 年度中にスタートする予定である。 ・ 国の施策として、来年の消費税増税時（10 月）に合わせて、保育料が無償化される動きがある。

発言者	発言の主な内容
企画部長	○開会の言葉
町長	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日、「第17回 幸田プレステージレクチャーズ」（企業立地課所管）を開催する。東京大学及び東京理科大学の名誉教授であられる藤嶋昭氏を講師としてお招きした。「科学を楽しく」をテーマに、身のまわりの現象や光触媒について、わかりやすくお話いただけると思う。北部中学校の生徒が出席していただける。 ・今回は、来年度の当初予算に関する議題となっている。今年の本町各地の自然災害を鑑みると安全・安心対策が中心になると考えている。 ・教育においては、小中学校普通教室への空調整備、北部中学校・豊坂小学校の増築は必須であり、注目されることである。 ・児童福祉においては、幸田保育園の大規模改修を引き続き行っていく。また、可能な限り、保護者からの要望にも応えていきたい。 ・災害時には、避難所の中心として学校体育館が想定される。避難してきた人をしっかり受け入れられる体制を作っていきたい。 ・「こうた凧揚げまつり」について、みんなが参加できる凧揚げまつりとして、全国にPRしていきたい。 ・地域からの要望が多い「サッカー」を始めとして、スポーツに親しめるまちづくりも考えていきたい。 ・時代の変化により、財政状況は非常に厳しくなっている。委員からは、新しい発想で意見をいただき、予算編成の参考にしていきたい。
教育長	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度で決まっている会議であり、県や他市町村でも開催されている。幸い本町は、定例教育委員会にも町長に出席をいただいております、とても身近な存在である。 ・この時期の総合教育会議は、町長部局（財政当局）にとって重要なテーマである予算について取り上げている。委員にあつては、有識者・保護者目線で何でも聞いていただきたい。
町長	<p>○議題「意見交換」</p> <p>(1)「教育関係予算について」説明を求める。</p>
学校教育課長	<p>(1)「教育関係予算について」説明</p> <p>○教育関係予算の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の教育関係予算は、23億9,748万3千円であり、一般会計予算歳出予算全体（155億2千万円）の15.4%となっている。 ・予算総額が年々増加する中で、教育費も増加（平成25年度約16億円から平成30年度約24億円）している。特に平成28年度に幸田小学校整備事業（5億9千万円）、平成29年度に町民会館音響・照明修繕工事（5億3千万円）などの大規模な施設整備事業により、20億円を上回る規模となっている。 ・平成30年度の教育関係予算として、前年度比1億5千万円の増（北部中学校の増築工事によるもの）となっている。学校教育課では、新たに非常勤養護教諭を配置するなどの小中学校への人的支援の充実や、保護者負担軽減施策、

	<p>学習環境整備など継続した取り組みを進めるほか、トイレ改修工事などの学校施設整備に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課においては、生涯学習、青少年健全育成、文化財保護事業など継続した取り組みを進めるとともに、ハッピーネス・ヒル・幸田の施設修繕にも取り組んでいる。 <p>○平成 30 年度教育関係予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育総務費：193,154 千円（執行率 37.2%） ・小学校費：325,610 千円（執行率 63.8%） ・中学校費：537,435 千円（執行率 75.7%） ・社会教育費：710,952 千円（執行率 79.9%） ・保健体育費：630,287 千円（執行率 87.2%） <p>○教育施設整備基金の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度末教育基金残高は 4 億 6,000 万円の見込み <p>○教育関係予算における課題及び懸案事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会での一般質問、予算・決算特別委員会や校長会等での要望事項を取りまとめた。特に、平成 30 年 6 月及び 9 月議会では、「北部中学校整備」、「ハッピーネス・ヒル・幸田の整備」、「学校給食の無償化」、「学校普通教室におけるエアコン設置」が一般質問での話題となっている。 ・実現可能なものから予算要求を行い、予算確保できたものから取り組んでいきたい。 <p>○平成 30 年度 9 月使補正予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具固定器具購入費（3,000 千円）、エアコン設置工事調査設計業務委託料（19,000 千円）、ブロック塀改修工事（11,000 千円）、町民会館工作物撤去移設工事費（40,000 千円）、町民プールランニングマシン購入費（994 千円）、図書館地震被害本復旧工事（4,000 千円）の 6 項目（77,894 千円） ・小中学校普通教室へのエアコン設置については、平成 30 年度中に基本調査、実施設計を進める。平成 31 年中に 6 小学校 124 教室、3 中学校 48 教室（計 172 教室）への設置完了を目指す。
町長	○説明に対する意見聴取
委員	<p>○質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「学校給食の無償化」について、どのように進めていくのか。 ②エアコンの整備時期は。 ③「図書館の充実」は、どのような内容を考えているか。
教育部長	<p>○回答</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「学校給食の無償化」は、他市町村からの移住につながる事が考えられるが、現状としては、本当に支援が必要な子どもに絞って取り組んでいきたい。 ②「エアコンの整備」は、今夏前から町長が公約として掲げられていたが、この夏の酷暑によりスピードが早まった。今年度中に設計を行い、次年度から設置工事に入り、2019 年 12 月中に普通教室の整備を完了させたい。その後、特別教室への整備を進めていく予定である。 ③「図書館の充実」も町長の公約の一つである。お勤めの方が、仕事帰りに図書館に立ち寄っていただくことを考えている。著名人による講演会やコーヒ

	ーを飲みながらの読書など、くつろぎの場となる取組を予定している。
委員	○質問 ④豊坂小学校の校舎増築の見通しについて ⑤部活動の多様化に伴う設備対策について ⑥給食センターの拡張整備と食物アレルギーへの対応について、
教育部長	○回答 ④豊坂小学校は、六栗地区の区画整理事業の進展に伴い、子どもが増加していることから、教室が不足する恐れがある。早い時期に増築が必要と考えている。 ⑤部活動の種目の多様化として、特にサッカー部の要望は多いが環境的に難しい。現状では、部活動にない種目で活動したい生徒は、学校ではパソコン部等に所属しながら、民間のスポーツクラブ等で活動しているケースが多い。 ⑥給食センターの増築については、運搬用コンテナの収納スペース確保や搬入・搬出口の拡張が主な内容になる。なお、アレルギー対応については、今回の拡張工事に具体的には考えていないが、将来的に手戻りとならないように、活用スペースを見込みながら対応していく。
委員	○意見 ・教育予算が町全体予算の 2 割を占める中、5 割増しはありがたい。人口増もあるので、よりご配慮いただきたい。 ⑦体育館へのエアコン設置も検討いただきたい。 ⑧教員の手当・待遇について、町として負担を軽くできないか。
教育部長	○回答 ・教育予算について、評価をいただきありがたい。この予算は、人口増加による校舎増築や町民会館の修繕など、必要に迫られていることから編成されているものである。 ⑦エアコンは、普通教室、特別教室の順に整備を進める。具体的な計画はないが、体育館はその次という感覚はある。避難所としての機能を有する体育館でもあるので、学校教育と安全対策の検討課題として認識していく。 ⑧今夏は、お盆の時期に 3 日間完全休校とした。また、子どもの健康管理が発端ではあるが、中学校では月曜日と木曜日の部活動を行わないこととした。土曜日、日曜日についても、どちらかは一方をお休みとし、部活動を行う場合も 3 時間までとした。教員の多忙化を和らげる取組を徐々に進めているところである。
委員	○意見 ⑨児童が減る学校もあると聞いた。余る教室を有効利用できないか。 ⑩総合体育館の構想について（部活動との関連）。 ⑪特別な配慮が必要な子とその保護者の支援について。 ⑫町民会館のガラスが突然割れたことがある。また、配置している車椅子の点検（タイヤの空気補充）をお願いしたい。 ⑬学校行事による休日の振替休日（月曜日）と図書館や児童館の休館日（月曜日）が重なることで、子どもの行く場がなくなる。何か対応策はないか。
教育部長	○回答

	<p>⑨荻谷小学校は、児童数のピークを過ぎた状況にある。特定科目で使用するなど工夫をし、有効利用している。</p> <p>⑩総合体育館の構想はあるが、具体的な建設時期は未定。部活動との関連とすれば、総合体育館での大会の開催などが考えられる。</p> <p>⑪少人数対応や特別支援、またその保護者への対応については、一番力を入れているところ。国や県では配置しない介助員を町単独で配置している。</p> <p>⑫図書館では、4月の地震（震度4）でガラスが割れた事例がある。施設の安全管理及び車椅子等の設備の点検には万全を期していく。</p> <p>⑬学校の振替休日と施設の休館日が重なることについては、今後の課題として認識していきたい。</p>
教育長	<p>○各委員からの意見等①～③に対してコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算に関しては、必要な分をしっかりと確保の上、子どもたちに還元していくことが、教員の仕事であると思っている。 ・教育には多くのお金をかけていただいているが、ほとんどが町民会館の修繕や校舎の増築などのハード整備に係るものとなっている。 ・部活動の今後は大きな問題（教員の働き改革も含む）。幸田町も国・県のガイドラインに合わせていく予定である。部活動の時間が減っていくことになるが、時間を余した子どもたちの生活（休日や夏休み等）について、家庭・学校がしっかりフォローする必要がある。 ・教員の待遇について、各校1人の養護教諭（以下「養教」）を幸田中に1人多めに配置している。これは、各校の養護教諭が不在の際に出向くもので、町費単独で雇用している。ほかにも、少人数や通級指導も町費で雇っている。教員の手助けになっている人（養教等の方）たちは、非常に効果があると思っている。 ・代休の問題は、直近の月曜日に配することとしている。各校代休がずれることがある中で、公共施設の開・閉館日を変更することは、町民全体に御迷惑を掛けてしまう。大きな問題ではあるが、解決は難しい。
教育指導監	<p>○学校現場視点からのコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校費、中学校費にある「員」や「講師」としている人は、町が雇っている人で、この方々の存在は、学校にとって本当にありがたい。人の配置は、教員の手助けとなっている。このような措置に感謝をするとともに、引き続き人的支援をお願いしたい。
町長	<p>○教育関係予算における総合的なコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生からの聞き取りでは、雨漏りなどの施設の老朽化、トイレの洋式化など、我慢をいただいていることも多い。その部分を充実させたい思いはあるが、町全体のバランスがあることを理解いただきたい。 ・自身の考え方（こだわり）ではあるが、「働く人が使ってこそその図書館」という思いがある。家に帰る前に少しの時間、図書館に寄り、本を読み、いろいろな人の話を聞き、知識を深め、幸田の図書館で学んだことが、仕事・職場で生かせる、そんな機会を作っていきたい。今までの図書館に、「働く人達の図書館づくり」をテーマに加えたい。 ・部活動については、サッカーの要望もあるようだが、場所がないと思う。こ

	<p>れからの事業である菱池遊水地（20ha）を早期実現することで、スポーツができる場所をつくりたい。また、一般廃棄物最終処分場内の埋め立て地など、うまく活用を考えながら、大人になってもいろいろなスポーツに親しめる環境づくりも大事だと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館フロアへの空調設備（エアコン）は、避難所機能を有することも考え、扇風機も含めて計画的に考えていきたい。まずは、普通教室から整備する。 ・ 総合体育館については、できた時の場所はある程度イメージされていることと思う。今までの体育館機能だけではなく、さらにどんな機能（多機能性・複合的）を持たせるか、考えていきたい。建設までには、相当の時間を要する。 <p>▼以上で「(1) 教育関係予算について」は、終了とする。 ○「(2) 児童福祉関係予算について」説明を求める。</p>
こども課長	<p>(2)「児童福祉関係予算について」説明</p> <p>○児童福祉関係予算の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度の教育関係予算は、25 億 5,847 万 2 千円であり、一般会計予算歳出予算全体の 16.4%となっている。 ・ 予算総額が年々増加する中で、児童福祉費も増加（平成 25 年度約 21 億円から平成 30 年度約 25 億 5 千万円）している。特に平成 25 年度のわしだ保育園大規模改修工事、平成 29 年度の多世代交流施設建設工事、平成 29・30 年度の幸田保育園大規模改修工事などの整備事業や保育園・住民広場の借地解消のための用地購入もあり、町費に占める割合が約 17%の規模となっている。 ・ 平成 30 年度の児童福祉関係予算として、前年度比 1 億円の減（多世代交流施設の完了によるもの）となっている。こども課においては、保育園、支援センター、放課後児童クラブ、児童館の運営や子ども会活動事業のほか、幸田保育園大規模改修工事、住民広場整備といった事業にも取り組んでいる。他にも児童手当支給事業、認定こども園等への施設型給付費等の支給事務、児童虐待に関する事業も行っており、業務は多岐にわたっている。 ・ 教育費に計上しているが、私立幼稚園への就園奨励費・入園料補助がこども課の所管であり、昨年度から私立幼稚園等が実施する園児の健診への補助にも取り組んでいる。 <p>○平成 30 年度児童福祉関係予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童福祉総務費：87,737 千円（執行率 50.3%） ・ 児童措置費：1,081,076 千円（執行率 34.2%） ・ 児童福祉施設費：1,389,657 千円（執行率 45.3%） <p>○児童福祉関係予算における課題及び懸案事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国では、来年度の消費税増税時期に合わせ、「保育料の無償化」に向けた動きがある。確定ではないため、動向を注視しながら、事前作業を進めている。 ・ 児童クラブについては、待機児童の解消と支援員の確保が課題となっている。 ・ 新児童館については、幸田小学校区及び坂崎小学校区内での建設に向けて、調査中である。 ・ 病後児保育について、調査・研究中ではあるが、次年度から取り掛かれるよ

	うに計画をしている。
町長	○説明に対する意見聴取
委員	○意見 ④新児童館（多世代交流施設）が幸田・坂崎学区に予定されているのは頼もしい。また、新しいものを作るだけでなく、近くの集会施設にも人を配置することで、近所の人たちが交流できるスペースとして有効利用できるとよい。 ⑤病後児保育には、保健所（西尾）の手續に手間が掛かると聞いた。段取りが良くなるとよい。
住民こども部長	○回答 ④公共（集会）施設には、名称から利用世代に合わせた施設がある（児童館、老人憩の家等）が、多くは昭和40～50年代に建設されたもので、老朽化も進み、誰もが使いやすい施設ではないことが課題となっている。その中で、多世代交流施設は、多くの方に立ち寄っていただける施設であると思っている。幸田・坂崎学区に計画している施設も、地域の方と調整しながら、求められる機能（地元住民以外の利用や高校生の学習の場など）も検討したい。 ⑤病後児保育については、議会において来年度（平成31年度）に実施することを答弁している。具体的な時期は未定だが、六栗区にあるファミリーサポートセンターの一部を利用してスタートする予定である。保育士、保健師を配置し、病院と密に連絡を取れる体制を構築していきたい。病児保育については、今後検討をしていく。
委員	○質問 ⑥保育園の待機児童の状況について
住民こども部長	○回答 ⑥4月1日時点で、未満児が10人いる。
生涯学習課長 ※前こども課長	※前こども課長（10月1日に異動）としてコメント ・この10人は、0～2歳の子（未満児）で、年少以上については、いずれかの保育園に入園できている。未満児は、1人の保育士で対応できる人数制限と保育室の確保がある中で待機が出ている。
町長	・この10人を減ずることはできないか。
生涯学習課長	・来年度、民間の小規模保育施設（19人以下）が来ていただける話がある。この園が誘致できれば、待機が解消されると考える。なお、この場合は、町から給付金が必要となる。
委員	○質問 ⑦企業内保育の動きは。
生涯学習課長	○回答 ・町内では、(株)デンソー他5社で「たっちっちハウス（鷲田区地内）」を運営しているのみ。企業内保育は、国へ直接相談になるため、町として把握できていない。決まってから、事後報告があるのみで、具体的な情報もない。
委員	・「ヤクルト」の託児所は、働きやすいスタイルと思っている。 ・民間の小規模保育施設は認可されると解してよいか。
生涯学習課長	・「ヤクルト」のような託児所、企業内保育所や町の保育園などの選択肢はあるが、選ばれるのは保護者である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育については、県の認可（面積、保育士の配置、調理室の管理等）が必要となる。認可後は、町の子育て会議に諮り認めていただく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○意見 ⑥保育士不足と聞いている。年齢制限（65歳）を拡大して、保育から一時離れている人を改めて活用できるよう、定期的な募集を考えていただきたい。
住民こども部長	<ul style="list-style-type: none"> ○回答 ⑥一般保育士は、町の採用試験をクリアしていただく必要がある。嘱託・非常勤の保育士及び調理師（65歳まで）については、随時募集を受け付けている。年齢制限にあっては、公務員の定年延長に合わせて見直しを検討したい。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・民間幼稚園等の保育士は、年齢制限なしで雇用できるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの場合であれば制限はないと思う。
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> ・正規の枠からは外れるが、非常勤でベテランの保育士を雇っているケースは見受けられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○意見 ⑥保育料の無償化は、魅力でもあり、問題もあると感じる。子どもの医療費無償となったとき、病院が子どもで一杯になり、苦情があったと聞いた。保育料無償化も苦情が出ないか心配である。
住民こども部長	<ul style="list-style-type: none"> ○回答 ⑥国から消費税の税率アップ（来年10月）に合わせて、保育料の一律無償化の話がある。幼稚園についても、同様の話がある。今後は、所得制限等の議論も考えられる。今のところ、無償化に対する批判はないが、問合せはいくつかいただいている。子育てに対しては、手当は増額、料金は減額という手厚い支援となっている。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・無償化については、児童措置費に国費負担分として町に入り、町が執行することになるか。
住民こども部長	<ul style="list-style-type: none"> ・地方交付税による措置になると思われるため、不交付団体である幸田町は、町費での対応になると考えられる。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的には、医療費は高校生の入院まで無償化にしてもよいと思っている。世代間の負担として、例えば年金は、今の若い世代は、将来受け取ることができないと思いながらも、現在負担をいただいております、それを原資にして年金を受け取っている世代がある。その時代の負担を、世代間でバランスを取るためにも、若い人の負担を和らげる（医療費等）ことも必要と感じている。 ▼以上で「(2) 児童福祉関係予算について」は、終了とする。 ○「(3) その他」で委員、事務局から発言あればお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○意見 ・学校体育館のエアコンについて、先日の台風で体育館が避難所となったことから、防災関係予算等での対応はできないか。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ○回答 ・避難所に配置する職員を6か所（小学校体育館）に集中させることで、管理（運営）の効率が上がる。防災備蓄倉庫も身近にあり、不足する物を補充しやすい環境にある。エアコンまでとはならないが、避難所の暑さ対策として、

	<p>防災予算で大型扇風機等を配置できるか検討したい。</p> <p>▼議題は以上となる。進行を事務局へ戻す。</p>
企画部長	<p>○お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度予定していた総合教育会議は2回であり、今回で終了となる。今後は、緊急の事案が発生した場合等、必要に応じて開催させていただく。
副町長	<p>○閉会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆さんからは貴重な意見をいただき、有意義な会議であった。 ・10月15日に来年度予算編成方針を各部課長に通知し、予算編成作業に入っていく。予算編成に当たり、本日の意見を反映していきたい。 ・本日は、誠にありがとうございました。
企画部長	<p>○閉会の言葉</p>

